



教育研究・運営カウンスル合同会議を開催

6月30日16:30より、今年度第1回目となる、対面による教育文化学部教育研究カウンスル及び運営カウンスル合同会議を、国際資源学部1号館第2・3会議室にて開催しました。学外委員の鈴木太委員が欠席で、他に、急な用務が発生して、学部長が欠席となり、武田副学部長が代理として議事を進行しました。他に陪席として、小野監事及び執行部会議のメンバーが参加しました。

通常は毎月、書面により行っていますが、年に2～3回は対面で行うことにしています。このカウンスルは、学部の重要事項を決定する重要な機関として、教授会、研究科委員会の上に位置づけられています。

議事は以下のようになります。

1. 令和3年度秋田大学教育文化学部教育研究カウンスル及び運営カウンスル合同会議議事要旨(案)について
2. 教育文化学部及び大学院教育学研究科の現状と取り組みについて

- 1) 学校教育課程、地域文化学科及び教職大学院の紹介について
- 2) 入学・入試状況について
- 3) 就職状況について
- 4) 学部改組の課題について
3. その他

学外委員からは、以下のような意見が出されました。

- 広報不足に関して、できるだけ早い時期からアプローチすることが必要かと思う。卒業生を活用した広報活動が有効かと思う。自分の子供に進路のアドバイスをする保護者を対象とする広報活動も求められるかと思う。
- 学生が秋田に残るように、教育委員会も一緒になって取り組ませていただきたい。
- 小学校の教員採用試験は倍率2倍を切っており、危機感を感じている。ここ10年、採用試験に関わっていて感じるのは、倍率は下がっているが、昔とは異なり、最近の受験生の質は平均よりも高い質になってきており、選考する過程の中で

資質があれば合格していくかと思う。

○ここ10数年は教員の採用数は非常に多いが、その後も採用がゼロになることはないため、学部の改組を行ったとしても教員養成系の免許取得機能の存続を強く依頼する。

○現場では若い先生方が増え、非常によく頑張ってくれている。ICT分野での活躍等もあるが、養成の段階で非常に力を付けて育っていることと感謝している。併せて、教職大





学院学校マネジメントコースを卒業した先生は、大部分が管理職として登用され、質の高い仕事をしてくれている。管理職にならない場合でも、学校を指導する立場に配置されている。引き続きお力添えをいただきたい。

○広報活動に関して、卒業生を活用した母校への発信が大事かと思う。

○地元就職の働きかけは、親御さんの関与のウエイトが大きいため、親御さんに対するPRが必要かと思う。

○地域の中小企業経営者の立場においては、教育文化学部は教員養成機関という認識がある。企業人の養成機能のある地域文化学科という名称イメージが、生徒や中小企業へ伝わっていない。毎年コンスタントに大卒を採用できる中小企業は少ないが、数年に一度でも幹部候補となる優秀な人材を採りたいと考える企業があるので、地域文化学科は、人材を確保するという意味で非常に期待値が高い学科だと思う。

○地元就職にプラスになるよう、協力していきたい。

○中小企業と学生との繋がりを持てるよう、インターンシップだけでなく、何らかの形で秋田大学生に企業の良さをアピールできるよう考えたい。

令和3年度 教育文化学部教育研究カウンスル及び運営カウンスル構成員

役 職	氏 名	内 線	備 考
学 部 長	佐 藤 修 司	2 5 4 1	第4条1号 第10条1号
副学部長（教育・教員養成・財務・施設担当）	武 田 篤	2 5 3 8	第4条2号 第10条2号
副学部長（研究・地域連携・評価・広報等担当）	林 良 雄	2 7 6 1	第4条2号 第10条2号
学校教育課程主任	成 田 雅 樹	2 5 3 1	第4条3号 第10条3号
地域文化学科主任	渡 辺 英 夫	2 6 6 7	第4条3号 第10条3号
秋田県教育庁教育次長	石 川 政 昭	外部委員	第4条4号 第10条4号
秋田県あきた未来創造部次長	久 米 寿	外部委員	第4条4号 第10条4号
秋田市教育委員会教育次長	鈴 木 太	外部委員	第4条4号 第10条4号
秋田商工会議所会頭	三 浦 廣 巳	外部委員	第4条4号 第10条4号

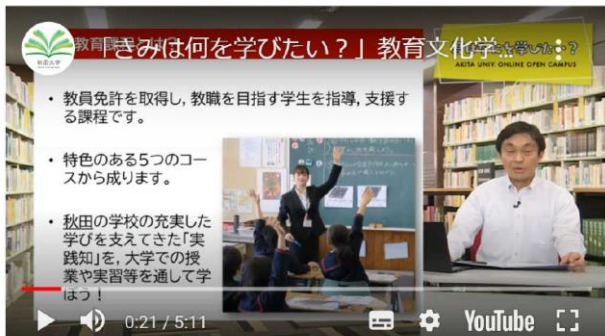
※教育研究カウンスル委員は第4条、運営カウンスル委員は第10条に規定

秋田大学 ONLINE オープンキャンパスを開催

昨年に続き、今年度、コロナ禍の影響によりオープンキャンパスはオンラインによる開催となりました。第1回目のリアルタイム企画は7月31日土曜に実施され、第2回目は10月9日土曜に開催される予定です。

<課程・学科紹介>

学校教育課程



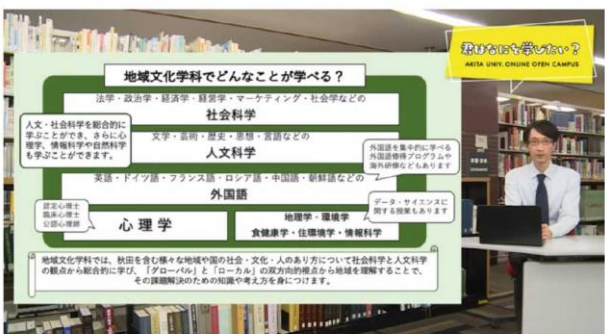
教育「きみは何を学びたい？」教育文化学

- ・教員免許を取得し、教職を目指す学生を指導、支援する課程です。
- ・特色のある5つのコースから成ります。
- ・秋田の学校の充実した学びを支えてきた「実践知」を、大学での授業や実習等を通して学ばす！

● 教育実践コース ● 特別支援教育コース
● 英語教育コース ● こども発達コース
● 理数教育コース

学校教育課程とは？

地域文化学科



地域文化学科でどんなことが学べる？

法学、政治学、経営学、マーケティング、社会学などの
社会科学

人文・社会科学を総合的に学ぶことができます。さらに心理学、情報科学や自然科学も学ぶことができます。

文学、芸術、歴史・思想・言語などの
人文学

英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語などの
外国語

心理学 地理学・環境学 健康科学・住環境学・情報科学

地域文化学科では、秋田を含む様々な地域や国の社会、文化、人のあり方について社会科学と人文学の観点から総合的に学び、「グローバル」と「ローカル」の両方向的視点から地域を理解すること、その課題解決のための知識や考え方を身につけます。

● 地域社会コース ● 心理実践コース
● 国際文化コース

地域文化学科とは？

<授業紹介>



松本 奈緒 准教授

保健体育科教育学演習Ⅲ

学校教育課程教育実践コース

松本 奈緒先生



パターソン エイドリアン・ディヴィッド 准教授

異文化理解Ⅱ

学校教育課程英語教育コース

Paterson Adrian David先生



理科教育学演習Ⅲ

学校教育課程理数教育コース

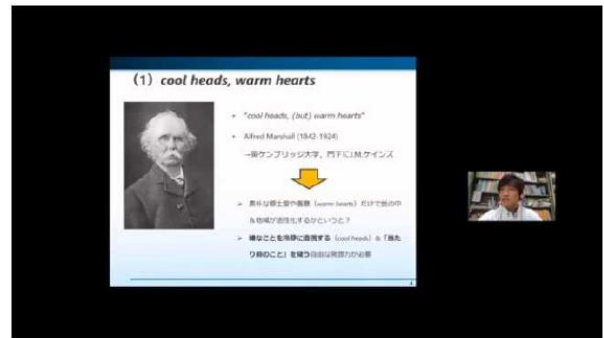
田口 瑞穂先生



知的障害教育論

学校教育課程特別支援教育コース

前原 和明先生



経済学概論

地域社会コース地域社会コース

荒井 壮一先生



心理学実験Ⅱ

地域文化学科心理実践コース

中野 良樹先生



外国語発展演習IVD（中国語）

地域文化学科国際文化コース

羽田 朝子先生



情報教育実践論Ⅰ

学校教育課程こども発達コース

細川 和仁先生



社会学概論

地域文化学科地域社会コース

和泉 浩先生



マーケティング・リサーチ

地域文化学科地域社会コース

益満 環先生

<研究室紹介>



鈴木徹先生（特別支援教育コース）

<研究紹介>

地域文化学科

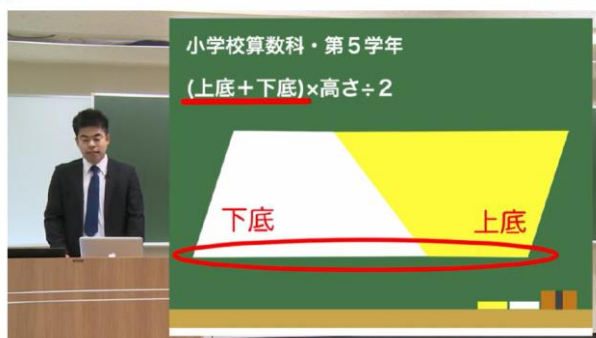
東北地域ブランド総選挙 最優秀賞受賞



2019年12月20日、東北地域ブランド総選挙（仙台市）
「橋手やきそばが美味しい理由（ワケ）」

益満 環先生（地域社会コース）

学校教育課程



加藤慎一先生（理数教育コース）

おうちでキャンパスライフ体感!!

ONLINE OPEN CAMPUS 2021

2021年7月 公開予定

① 入試ガイダンス

秋田大学の入試は、
どのような流れで行われるのか
これですべて解説!

② ドローンキャンパスツアー

それぞれのキャンパスが
どのような様子なのか
ドローンから上空から
お楽しみください!

③ 4学部9学科の紹介

秋田大学の
多様な学びについて、
教員が紹介します。

④ 学科・コース紹介ツアー

秋田大学の
多様な学びについて、
学生が紹介します。

⑤ ミニミニ講義

秋田大学の
各学科を代表する
ミニ講義動画を
公開します。お楽しみください。

⑥ 研究室紹介
クラブ・サークル紹介
etc.

リアルタイム企画

第1回
令和3年7月31日(土)

第2回
令和3年10月9日(土)

参加者

・教員や在学生による相談会
・Online The ALL Rooms
・オンライン模擬講義

参加者

Zoom

秋田大学

リアルタイム企画
事前申込サイト

https://www.ocans.jp/akita-u/schedule/?fid=upwB_30Y

※リアルタイム企画への参加は
事前の申込が必要です。

国際資源学部

●国際資源学科

教育文化学部

●学校教育課程
●地域文化学科

医学部

●医学科
●保健学科

理工学部

●生命科学科 ●物質科学科
●数理・電気電子情報学科
●システムデザイン工学科

秋田大学

〒010-8502 秋田県秋田市平野町1-1
TEL 010-850-2255(直通) FAX 010-850-9924
e-mail ryushin@akita-u.ac.jp オープンキャンパス(公募)
オープンキャンパスの開催は、秋田大学ホームページをご覧ください。
https://www.akita-u.ac.jp/admission/oc_2021/

https://www.akita-u.ac.jp/admission/oc_2021/

出前講座「太平中学校と火山の不思議な関係ー巨大噴火と火山の化石」を実施



秋田大学は、6月17日に、あきた理系プロジェクトの一環として、秋田市立太平中学校において、出前講座「太平中学校と火山の不思議な関係ー巨大噴火と火山の化石」を実施しました。

今回の出前講座は、本学大学院教育学研究科教職実践専攻の林信太郎教授を講師に、太平山と火山を主なテーマとし、講義の他にも菓子や炭酸飲料などの食べ物などを使い、火山が噴火する仕組みや火山灰の降り方の実験、入浴剤を使った火砕流・火山灰を再現する実験を行いました。

生徒たちは、太平

山の成り立ちや今後、噴火の恐れなどに安堵しながら、興味深く耳を傾け、目の前で行われる実験に

は控えめながら真剣なまなざしを向けていました。

質問コーナーでは、林先生の著書である「世界一おいしい火山の本」を読んでいる生徒もいたためか、高度な質問が続き、生徒たちが普段も山や火山に興味をもって調べている様子がうかがえました。

終了後のアンケートでは、「マグマやカルデラと聞いて、難しそうだと思いましたが、身近にあるような材料で実験ができてとてもおもしろかったです」、「今日の実験は本で書いてある、私がやってみたいと思っているような実験をできてうれしかったです」、「火山のいろいろなことについてしれて楽しかったです。理科がもともと好きだったけれどもっと好きになりました」などの感想が寄せられました。

【全学HPより転載】



出前講座「海の生き物の多様性を知ろう 男鹿の特産品も そしてSDGsも」を実施



秋田大学は、6月15日に、あきた理系プロジェクトの一環として、秋田市立桜中学校において、出前講座「海の生き物の多様性を知ろう 男鹿の特産品も そしてSDGsも」を実施しました。

今回の出前講座は、本学教育文化学部の石井照久教授を講師に、7月に桜中学校で予定されている「男鹿地域探訪」の事前学習として行いました。

体育館の壇上でスクリーンに写真やクイズ等を映し、動物の分類法や男鹿を含む海の生物の生態や海健康などについて講義した。高校で習う内容もあったが、石井先生の体験談やアニメのキャラクターなどの楽しい話も多く、生徒は一生懸命メモを取りながら聞き入っていました。

質問コーナーでは、「今まで食べた動物で、何が一番おいしかったですか？」などもあり、石井先生の体験談が生徒達の印象に残った様子でした。

終了後のアンケートでは、びっしりと感想を書いた生徒が多く、「動物を「門」で分類することを初めて知った」、「シラス干しを食べるときにはタツノオトシゴがいらないか調べてみたい」、「スポンジボブが海綿動物だとは知らなかった」、「プランクトンが健康なら海も健康で、地球温暖化を防いでくれるので大切にしたい」などの感想が寄せられました。

【全学HPより転載】



新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

【全国】

- 6/30：秋田県で13人の新規感染者があり、ダンスイベント参加の感染者の濃厚接触者として秋田大学の学生1名の感染が確認。【ニュース報道】国内のワクチン接種の2回目を終了した人が累計1500万人を超える。
- 7/1：国内のワクチン接種の1回目を終了した人が累計3000万人を超える。
- 7/3：全国の死者数が10人を切り、9人となる。10人を切るのは4/3の8人以来。秋田県で7人の新規感染者があり、累計感染者数が900人を超えて904人となる。
秋田大学の学生2人の感染を発表。
- 7/4：全国の重症者数が500人を切り496人。
- 7/6：国内のワクチン接種の2回目を終了した人が累計2000万人を超える。
- 7/7：全国の新規感染者数が2000人を超え、2191人となる。2000人を超えるのは6/10の2045人以来。6/21の868人が最も少なかった。
- 7/8：オリンピック組織委員会は6/21に観客数上限を「収容定員の50%以内で1万人」と決めていたが、緊急事態宣言が発令されたことから、首都圏は無観客とすることに決定。最終的に、宮城、静岡以外は無観客となる。
- 7/12：東京に4度目の「緊急事態宣言」、沖縄の「宣言」は延長され、8/22まで。大阪と神奈川・埼玉・千葉の4府県の「重点措置」は8/22まで延長。北海道、愛知、京都、兵庫、福岡の5道府県の「重点措置」は7/11で解除。
全国の死者数が5人を切り、3人となる。5人を切るのは11/14の3人以来。
- 7/14：全国の新規感染者数が3000人を超え、3192人となる。3000人を超えるのは6/2の3035人以来。東京都の新規感染者数が1000人を超え、1149人となる。1000人を超えるのは5/13の1010人以来。6/14の209人が最も少なかった。
国内のワクチン接種の1回目を終了した人が累計4000万人を超える。
- 7/15：全国の重症者数が400人を切り396人。
- 7/16：気象庁は16日、関東甲信地方と東北地方が梅雨明けしたとみられると発表。
秋田市教委は新型コロナの影響で成人式を今年1月から8/15に延期していたが、中止を決定。
- 7/21：全国の新規感染者数が4000人を超え、4943人となる。4000人を超えるのは5/27の4136人以来。
- 7/22：全国の新規感染者数が5000人を超え、5397人となる。5000人を超えるのは5/22の5037人

*一部不明・不正確な箇所があります

- 以来。国内のワクチン接種の2回目を終了した人が累計3000万人を超える。
- 7/23：東京オリンピックが開幕。
- 7/27：全国の新規感染者数が7000人を超え、7629人となる。7000人を超えるのは5/12の7049人以来。東京都の新規感染者数が2000人を超え、2848人となる。2000人を超えるのは1/15の2044人以来。1/7の2520人を超えて過去最多。全国の重症者数が500人を超え514人となる。500人を超えるのは7/3の501人以来。7/16の376人が最も少なかった。
- 7/28：全国の新規感染者数が9000人を超え、9576人となる。1/8の7957人を超えて過去最多。東京都の新規感染者数が3000人を超え、3177人となる。秋田県で4人の新規感染者があり、累計感染者数が1000人を超えて1001人となる。
- 7/29：全国の新規感染者数が10000人を超え、10699人となり過去最多。
- 7/30：「緊急事態宣言」の対象地域に埼玉、千葉、神奈川、大阪の4府県を追加するほか、北海道、石川、兵庫、京都、福岡の5道府県に「まん延防止等重点措置」を適用。期間はいずれも来月2日から31日までとするとともに、東京と沖縄の宣言の期限もこれにあわせて延長。
全国の重症者数が600人を超え626人となる。600人を超えるのは6/24の629人以来。
- 7/31：全国の新規感染者数が12000人を超え、12341人となり過去最多。東京都の新規感染者数が4000人を超え、4058人となる。

【秋田大学】

- 7/2：学生の感染確認が続いていることから、学生の入構禁止、対面授業の遠隔授業への切り替え、



7/2の大学から見る鳥海山：まだ少し雪が残っています

研究活動及び学外実習の停止、アルバイトの自粛及び課外活動の停止を7/11まで延長。

7/8：手形・本道キャンパスの入構禁止が7/16まで期間延長。対面授業の遠隔授業への切り替え、研究活動及び学外実習、課外活動の停止の措置、アルバイトの自粛要請も7/16まで延長。ただし、やむを得ない理由でアルバイトをしなければいけない学生については、アルバイトの内容によって個別に判断。

7/15：6/25から入構禁止の措置を解除。課外活動は県内での、県内者のみでの活動は許可。県外での活動及び県外者を含めた県内での活動は7/22まで停止するが、相談に応じる。7/19より対面授業の再開。アルバイトは7/22まで自粛要請を延長。ただし、やむを得ない理由でアルバイトをしなければいけない学生については、アルバイトの内容によって個別に判断。

【学部・研究科】

7/21：キャンパスクリーンデーを実施。

【附属学校園】

7/26：今年度第1回附属学校地域協働協議会をコロナ禍により書面で開催。



土曜なので学生もあまりいません



7/31のonlineオープンキャンパスの日
例年は本学部だけで1000人以上が訪れます
このあたりにテントを立てて受付をしています
長い列ができるのですが・・・



発行 秋田大学教育文化学部／教育学研究科

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 TEL 018-889-2509 FAX 018-833-3049

教育文化学部・教育学研究科HP <http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>

学部研究科通信「みなおと」バックナンバー⇒http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_magazin.html

教職大学院通信「暁鐘の音（かねのね）」⇒http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/graduate/graduate_magazin.html

* 誌名「みなおと」の由来である秋田県女子師範学校校歌（1910年制作）を聴くことができます。

http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_symbol.html をご覧下さい。